

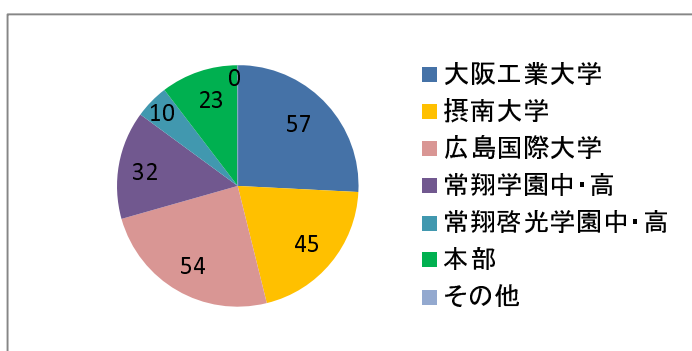
常翔歴史館 「常翔History」読者アンケート実施結果について

常翔歴史館館長
総務部改革・事業担当部長

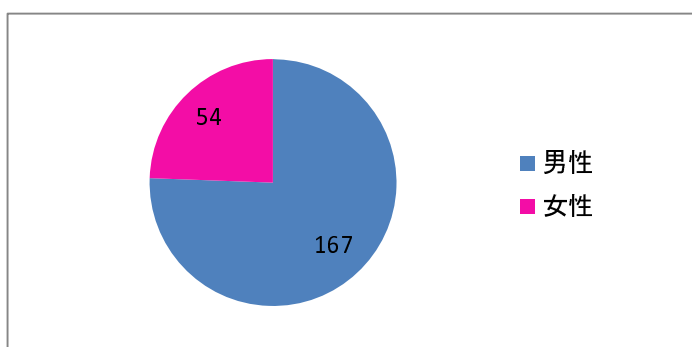
- ◇アンケート対象者 教職員等（「教職員情報共有サイト」にてお願い）
 ◇アンケート対象 2016年1月から10月までの期間に発行した
 「常翔History（No.1～No.10、番外編）」
 ◇アンケート実施期間 2016年11月22日（火）から12月6日（火）
 ◇アンケート回答者数 221名

Q1. 回答者ご自身のことについてお知らせください

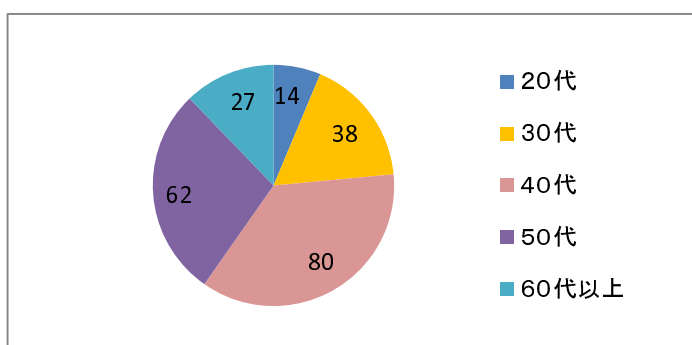
【所属】	回答数
大阪工業大学	57
摂南大学	45
広島国際大学	54
常翔学園中・高	32
常翔啓光学園中・高	10
本部	23
その他	0
合 計	221



【性別】	回答数
男性	167
女性	54
合 計	221

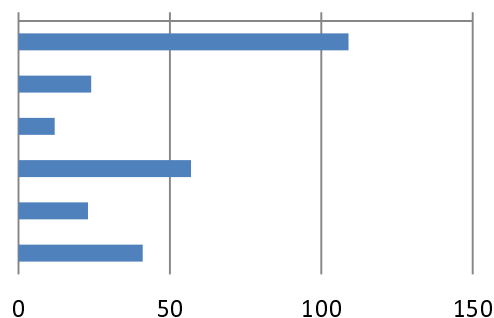


【年齢】	回答数
20代	14
30代	38
40代	80
50代	62
60代以上	27
合 計	221



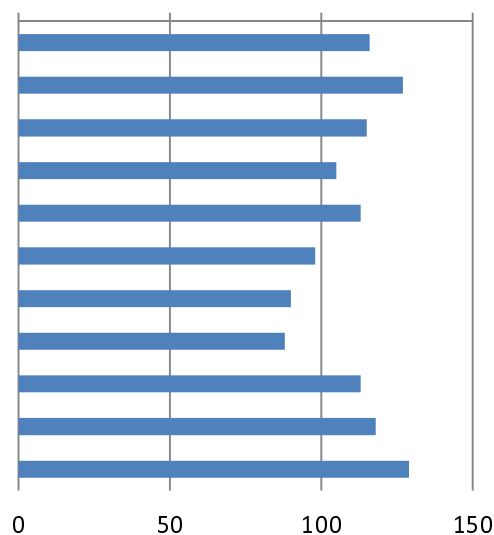
Q2. 「常翔History」をどのような方法で知りましたか？（複数回答可）

選択項目	回答数
①「教職員情報共有サイト」を見て	109
②「常翔学園HP」を見て	24
③教職員からの口コミ	12
④常翔Historyセット版	57
⑤その他	23
⑥知らない（Q7へお進みください）	41
合 計	266



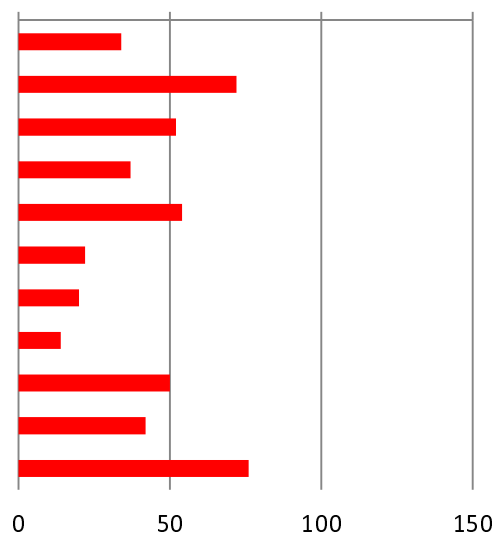
Q3. 「常翔History」の何号を読みましたか？（複数回答可）

タイトル	回答数	順位
No.1「常翔History 連載開始にあたって」	116	4位
No.2「学園が創設された時代背景」	127	2位
No.3「大大阪と呼ばれたころ」	115	5位
No.4「大大阪と交通」	105	8位
No.5「初代校長・片岡 安氏はどのような人？」	113	6位
No.6「建築家としての片岡 安氏を知る①」	98	9位
No.7「建築家としての片岡 安氏を知る②」	90	10位
No.8「実業家としての片岡 安氏を知る」	88	11位
No.9「学び舎の移り変わり」	113	6位
No.10「学園創立94周年ー100周年に向けてー」	118	3位
番外編「学園とラグビー」	129	1位
合 計	636	—



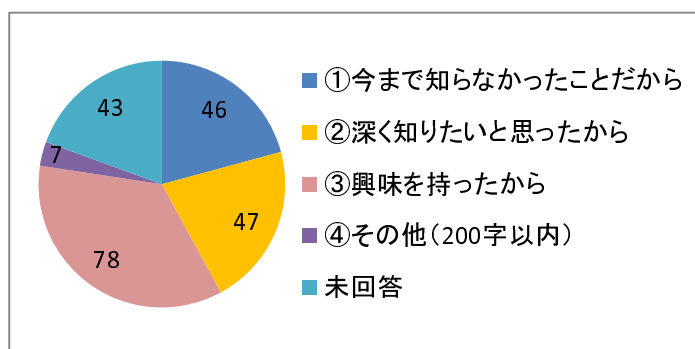
Q4. 印象に残っている「常翔History」は何号ですか？（複数回答可）

タイトル	回答数	順位
No.1「常翔History 連載開始にあたって」	34	8位
No.2「学園が創設された時代背景」	72	2位
No.3「大大阪と呼ばれたころ」	52	4位
No.4「大大阪と交通」	37	7位
No.5「初代校長・片岡 安氏はどのような人？」	54	3位
No.6「建築家としての片岡 安氏を知る①」	22	9位
No.7「建築家としての片岡 安氏を知る②」	20	10位
No.8「実業家としての片岡 安氏を知る」	14	11位
No.9「学び舎の移り変わり」	50	5位
No.10「学園創立94周年ー100周年に向けてー」	42	6位
番外編「学園とラグビー」	76	1位
合 計	224	—



Q5. Q4について理由を簡単に聞かせてください。

選択項目	回答数
①今まで知らなかったことだから	46
②深く知りたいと思ったから	47
③興味を持ったから	78
④その他(200字以内)	7
未回答	43
合 計	221



【その他コメント】

○NHK朝ドラでも度々舞台になる大大阪時代に、学園創設時代を支えた方々が深くかわっていることを知り、親近感がわきました。また、ふだん何気なく通っている街並みにある建造物に、片岡氏設計のものが多々あることがわかり驚きました。(特に芦屋仏教会館)

○勤務年数が長くなると、このような読み物は懐かしく、また後輩に体験等を話せる機会も持てるなど思い出が蘇る瞬間をいただいた気がする。

○子どものころに利用していた市電を思い出したから

○大阪の歴史と大工大の関係に興味があったため

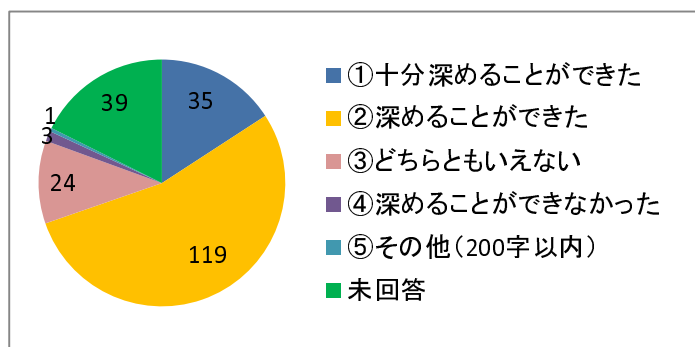
○非常に読みやすかった。段々と難しくなっていたような気がする。

○歴史が好きなことと、父親が工大建築出身であるため建築家に興味があります。

○たまたま見たから。

Q6. 「常翔History」を読んで、建学の精神について理解を深めることはできましたか？

選択項目	回答数
①十分深めることができた	35
②深めることができた	119
③どちらともいえない	24
④深めることができなかった	3
⑤その他(200字以内)	1
未回答	39
合 計	221



【その他コメント】

○学園設立時と発展期の時代背景を感じとることができました。建学の精神を自分なりに解釈して、次の時代を支えるための教育を提供するだけでなく、卒業後の長い職業生活を切り開く力を全ての学生につけてもらいたいと改めて実感しました。

○歴史を学ぶことも大事だが、それのみで建学の精神を深め、理解するのは難しいと思う。

Q7. 「常翔History」について、ご意見があれば聞かせください(200字以内)

- A4版1枚ものに纏められて大変読みやすいです。しかしこれとは別にさらに詳しい説明文があっても良いのではと思います。
- もう少し、学園のことに興味をもってかかわれるのではないかと思います。機会を見つけて読んでいきたい。
- 「常翔History」を拝見し、改めて、歴史の重みを感じるとともに、一度は皆さんに歴史館へ足を運ぶようにして頂きたいと強く思いました。
- No.2で「全く関係者の犠牲的精神の結晶で作られた」とあり、本庄京三郎先生のボランティアな関わり方についても知りたいと思いました。
- こういった内容を知るとは学生にとっても自校教育の一貫としていいものだと思うので、学生もこのまとまった情報を手に入れることができればよいと思います。
- こちらに来て日が浅いのですが、建学の思いに触れることができ大変勉強になりました。
- これまでも周年行事などの機会に学園の歴史を振り返ってきましたが、常翔歴史館ができたことや、歴史館長のご講演の聴講、自校教育冊子作成のほか、今回のように常翔Historyという形でまとめたことで、さらに興味がわき理解を深めることができ良かったと思います。関係の方々に感謝するとともに、常翔学園の一員としてこれからの歴史に貢献できたらと思います。
- コンパクトで分かりやすく、学園設立の背景知識が構築できた。
- ぜひ拝見したいです。
- そのようなものがあることを知らなかったのもっと積極的にPRなりをしたらよいと思います。
- なんだろうと思ってネットで調べたら「最終回」とあったのでびっくりしました。季刊にしたらどうですか。
- もっと旭区と大工大の歴史をそのころの写真や地図を使つての特集を組んでほしい。
- わかりやすく、また見やすく学園の歴史や建学の精神にふれることができ、とても参考になっています。
- 印刷して残しています。大変興味深い記事をありがとうございました！
- 学園OB達の著名(頑張った)な人々の活躍や世間に残した足跡があれば紹介記事を連載してほしい。
- 学園の歴史をこのようなしっかりとした資料で次の世代の若い人々に語り継いでいくことは大切なことと感じました。
- 学園の歴史をもっと知りたかった。途中で時代が急に飛んでビックリしました。
- 学園の歴史を知るというだけでなく、読み物としてもすばらしいものでした。本学園にはFLOWをはじめとして年間数多くの冊子が刊行されていますが、今回の文章は秀逸でした。機会があれば続編を期待しております。
- 学園の歴史を知るのは重要なことだと感じております。通史が掲載されれば毎号読むと思います。
- 学園創設の歴史、時代背景を構成員が共有する素晴らしい取り組みであったかと思います。
- 学生にとって自校史は大事なことです。普段でも教員からことあるごとに話題に触れるためには、歴史を熟知しておく必要があります。この意味からもこのような冊子は大変重要であります。これからは継続的に発行して頂けると幸いです。
- 基礎ゼミの一環やゼミの校外学習で歴史館に訪れてみたいです。校地移動の制約をなんとか工夫したいところです。
- 貴重な資料をありがとうございます。学園史に関する知識は、自己の興味によるほか、学外者との情報交換時に必要とされる知識を得る情報源として重宝しております。
- 経費削減・環境マネジメントの観点から、Webの掲載のみにし、紙媒体は無くてもよかったと思います。
- 今まで通りのことだけをしているならば、学園の将来も先細りなので、過去を振り返っていても意味がないと思います。
- 今回、常翔ヒストリー「No.1-10・番外編」を読ませていただきました。ありがとうございました。大変まとまった内容で、教職員だけではなく、在校生等にも読ませると愛校心を育む取り組みになると思います。
- 今回初めてNo.1-10・番外編を読ませていただきました。
- 今後、少子化による受験人口の減少が深刻化すると思います。生き残るために学部や学科再編、予算削減など痛みを伴う改革が必要と思われますが、今後どれくらい状況が厳しくなるのか、そして学園としてはどのような取り組みを計画されているのか、特集があると良いと思いました。

- 今後も継続して情報発信をお願いいたします。工大では各部署において予算削減に努力している中、常翔HistoryについてWebを利用されるなど、学園全体で共同して予算削減の意識をお持ちいただきたいと考えます。何卒よろしくお願いいたします。
- 昨年、益山先生にご講演いただき初めて知ったことが多々ありましたが、今回この「常翔History」に目を通して、いくつか再確認することができました。
- 昨年度摂大にて開催された「建学の精神」の理解のための講演会に参加したこともあり、常翔Historyを読みやすく感じています。
- 紙媒体で配布するのはいかなるものか。HPにPDFをアップするのでも十分では。
- 次の企画に期待します。
- 自校史を学ぶ上で有用な取り組みと感じました。歴代理事長と当時の学園状況の教育が進めば、職員の意識や士気も高まると思われます。
- 質問文に機種依存文字が含まれています。回答者の環境によっては回答できないことがあるのではないのでしょうか？
- 取材、ご苦労さまでした。昔の記録を辿るのは大変な作業であったと思います。興味深く、読ませていただきました。大河ドラマの登場する著名な歴史上の人物だけでなく、各家庭でもルーツを探り、引き継がれているモノを感じる・知るのは、とても大事であると思います。若い生徒や学生がそのようなことに興味を持ってもらいたいと願っています。
- 常翔History のわりには、設立当時の話しかなく、大学が設置されてから、どのような活動や貢献が行われたのかがない。このままでは、「偉い人が設立したけど、大して活動していない」という印象になる。
- 常翔Historyが教職員共有サイトに掲載されているということを知りませんでした。日頃より当サイトはチェックするようにしていますが、自身の中でFLOW等と比べて閲覧の優先度が低かったものと思われます。今後は気を付けるようにいたします。
- 常翔Historyの発行ありがとうございます。発行にあたり、それぞれの章に「社説」のようなコーナーがあれば、常翔学園の歴史が未来展望へつながる紐付けになるような気がしました。今後も楽しみにしています。ありがとうございました。
- 常翔学園としての理念、マインドがどの程度、どのように継承されているか？また、現在の方向性と合致しているのだろうか？ 改めてその意識を継承していきたいところです。
- 申し訳ありません、率直に知りませんでした。
- 先日、セット版を入手しましたが、まだ読むことができていません。このような媒体を作成し、内部プロモーションを促進することは賛成ですが、文書は浸透が難しいような気もしました。ショートムービーなどでまとめてみてはいかがでしょうか？ムービーメーカーなどの簡単なものでもいいかと思います。
- 大学の沿革を学生や教職員に周知すること自体は非常に重要で、愛校心を育てられる。今までその取り組みについて、控えめであったという印象があるので、今後は活発に取り組んでほしい。
- 大阪工業大学であり、大阪工業大学高等学校であり、摂南大学であり、広島国際大学としての、歴史がそれぞれにあり、それぞれの貧しき・苦難の時代において、支えてきた人々があつての、常翔学園だと思っています。
- 大阪工業大学に所属するので、大宮キャンパス周辺の変遷についても興味がある。卒業生で活躍される方の業績や活躍ぶりとともにヒストリーとして、学部・学科や校舎の変遷なども紹介してもらえれば楽しめる。
- 特になし。歴史も大事ではあるが、優先すべきことは他にもあるように感じます。
- 勉強になりました。
- 毎回楽しみに読んでいただきました。今後とも継続していただけたらと思います。よろしくお願いします。

以 上